

# ふれあい

第96号 一関市室根市民センターだより



体験から楽しく学ぼう！  
ミツバチの生き方  
青年ふれあい塾



青年ふれあい塾では、一緒に活動してくれるメンバー(20代〜40代)を募集しています。ボランティア活動や体験教室など「やってみよう！」という方は室根市民センター(☎:64-2347)まで気軽に問い合わせください。

身近な存在でもあるミツバチについても学ぶことで、蜜蝋を使ったリップクリーム作りも、より楽しく行うことができました。

2月23日(日)青年ふれあい塾では「蜜蝋リップを手作りしてみよう！」と題した教室を開催しました。室根在住の養蜂家高橋友梨さんを講師に、ミツバチの生態や蜜蝋の活用法について学びました。ミツバチが成長に伴い、巣作り、蜜採集と群れの中での役割が変わることや、一匹が一生のうちを集められるはちみつは、ティースプーン1杯分程度であることなどを学びました。また、蜜蝋はミツバチがはちみつを食べて分泌する天然のろうで、主に巣の材料ですが、保湿に優れた成分であることから口紅や医療品などの原料にも使われることも学びました。実際に蜜蝋を使ったリップクリーム作りでは、蜜蝋とキャリアオイル(植物の種子や果実から抽出された植物油)をそれぞれのカップに入れて混ぜ、湯せんで融かし、こぼれないように容器に注いで固まれば完成です。

## 受賞おめでとうございます! 令和6年むろね文芸賞

2月22日(土)室根保健センターで「第7回室根地域まちづくり推進大会」が開催され、「令和6年むろね文芸賞」の表彰が行われました。令和5年10月〜令和6年9月に投稿された短歌、俳句、川柳の全作品の中から選者によって各部門の優秀作品が選ばれ、入賞者には賞状と記念品が贈られました。表彰の際には受賞作品が読み上げられ、会場入口に掲示された入賞作品には多くの来場者の注目が集まっていました。



「バレトン教室」の受講者を募集します。

「バレトン」とは、バレエの動きを元にヨガやフィットネスの動きを組み合わせたエクササイズです。激しい運動ではないので、初心者や運動が苦手という方でも気軽に参加いただける内容となっています。この機会に話題のエクササイズでリフレッシュしてみませんか?

日時: 4月10日(木)、17日(木)、24日(木)  
5月1日(木)、8日(木) 午前10時30分〜11時30分

会場: 室根体育館アリーナ

対象: 一関市内及び平泉町に居住、勤務している方  
定員: 20名  
参加料: 500円

※申し込み後、教室初日までに納入。納入後のキャンセルは返金できません。  
持ち物: 運動着、室内用シューズ、タオル、着替え、飲み物

詳細・お申込みにつきましては、室根体育館(電話・FAX: 64-2611) 一関市総合体育館(電話: 31-3111 / FAX: 23-2108) Googleフォーム: <https://forms.gle/MAAnLVnX4UEebph6> まで、お問い合わせください。\*4月1日必着受付開始

こちらのQRコードからもアクセスできます!

行事予定 ※26日〜翌月25日までの予定を掲載していますが、変更・中止になることがあります。

月日	行事内容	場所	時間
3月 31(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
7(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
10(木)	バレトン教室	室根体育館	10:30~11:30
11(金)	令和7年度女性学級代表者会議	室根市民センター	10:00~12:00
12(土)	室根パイパスクリン作戦	道の駅むろね(集合・解散)	8:00~9:00
13(日)	室根山 山開き		
14(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
17(木)	バレトン教室	室根体育館	10:30~11:30
19(土)	室根熱気球係留体験搭乗会 ※4/7(月)より受付開始。 ※詳細は4月の新聞折込をご参照ください。	きらめきパーク 多目的グラウンド	6:30~9:00
20(日)	室根で夜桜 ※開花状況により4/12、4/13に変更になる場合があります。最終決定: 4/8	室根野球場	【点灯】 18:30~21:00 【出店】 17:00~21:00
	第2回室根ヒルクライム	きらめきパーク(集合・解散)	7:00~13:00
21(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
24(木)	バレトン教室	室根体育館	10:30~11:30

編集/発行: 一関市室根市民センター  
〒029-1201  
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1  
TEL. 0191-64-2347 / FAX. 0191-64-3044  
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】 新年度を迎え、卒業・新生活とあわただしい日々の続く皆さんも多いのではないのでしょうか。新しいことには不安とドキドキがつきものですが、慌てず自分らしく、4月からの新生活も楽しんでいきましょう! 市民センターの教室や行事も、いろいろとありますので、ぜひチェックしてみてくださいね。(T. K)

郷土資料で

地域の昔を知る  
令和6年度文化史講座

室根市民センターでは、文化史講座「郷土資料から見る地域の歴史」の第1回と第2回を開催しました。2月14日(金)の第1回では、室根町史談会の渡邊精一さんが講師を務め、「安永風土記から知る郷土(上折壁編)」と題して、安永風土記に書かれた内容から、江戸時代の上折壁地区の様子について学びました。



2月26日(水)の第2回では、東郷史学会の村上光一さんを講師に「地元の歴史を探究する方法(戊辰戦争と室根)」と題した講演を行い、歴史上の重大な事象の中で、室根の人々を含む東北地域がどのように関わっていたのかを資料とスライドを交えて学びました。参加者からは、「自分の住む地域の歴史に改めて興味があった」との声も聞かれ、どちらの講座でも参加者がメモを取りながら熱心に耳を傾ける姿が見られました。



趣味と交流を楽しむ

1区・12区女性学級

小さな空間を作るもので、苔を育てるだけではない楽しみ方ができます。参加した皆さんは、できあがりやイメージしながら、苔や小石などを慎重に配置して、それぞれの世界を作り上げていました。



2月16日(日)1区女性学級では、あすみ工房(厳美町)を講師に、「コケリウム教室を開催しました。」

12区女性学級では、2月27日(木)ひこばえ交流センターを会場に「手芸教室」を開催し、三浦よし子さんに編み物を教わりました。好きな色の毛糸を使い、わからないところをお互いに教え合うなど、おしゃべりしながら、色とりどりのネックウォーマーを制作しました。完成を楽しみしながら、地域の交流も深められた時間となりました。

退職者あいさつ



室根市民センターに務めて8年間、女性学級や成人教育の移動研修や各種教室など、いろいろな事業に携わり多くのことを経験し、そして学びさせていただきました。

また、地域行事であるむろね七夕まつりや産業文化祭、むろね音楽会などの行事にも事務局として企画から運営まで携わり、単に参加するだけよりやりがいもあり、楽しいと感じました。至らぬ点も多々あったかと存じますが、地域の皆様の支えのおかげで、充実した8年間を過ごすことができました。

今後は、新たな目標に向かって精進してまいります。皆様からいただいたご恩は決して忘れず、今後の励みとさせていただきます。最後になりましたが、皆様の今後のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。8年間、本当にありがとうございました。室根市民センター副所長 小山賢一

文芸(短歌・俳句・川柳)

1月26日〜2月25日投句

川柳 内田 正好 選

血圧を今朝も測るもああ高い

検察は真実よりも面子重

矢越 尾山 与太郎

親不安子はウキウキ新生活

折壁 昭和 小葉

孫の手で痒いとこ掻く気持ちよさ

冬はやだ着膨れしても風邪を引く

矢越 加藤 光春

大谷さん何をおこなっても話題になる

あら汁に七味をふってあたたまる

津谷川 佐藤 可奈

《選者詠》

山の神何怒ってる大焰

短歌

佐藤 知男 選

卒業のアルバム捲り思い出す

あの頃の夢熱き青春

矢越 加藤 光春

死にたいと介護の我に母が言う

何馬鹿言って長生きしろよ

粉雪のしとど降りつく里山は

身じろぎもせず春を待ちおり

矢越 小山 富子

寒最中温き日差しにちよろちよろと

雪解け水は大河を目指す

手作りの飴固まらず水飴に

かたやお芋は上手くふかせた

津谷川 佐藤 可奈

《選者詠》

朝まだきオリオン西に姿消し

さそりが昇る神話語りて

北天に乙女の胸の形して

カシオペヤ座巡る凍てし夜更けに

俳句

村上 群青 選

二目盛下げて微睡む春炬燵

マルクス本埃はらいて多喜二の忌

約束を日延にしたる春時雨

鬼剣舞の若き躍動春近し

折壁 五日市 道子

音もなく色も消し去り雪景色

立春を目の前に降る霰かな

折壁 雷 風

北国の春待ち人に柳咲く

降り積もる無情の雪や天仰ぐ

矢越 加藤 光春

春を待つデイの昼食メニューかな

句の仲間面会嬉し春の風

折壁 小山 すゑ

いく度も眺める窓辺春の雪

春帽子欲しいと言うてみたい日も

折壁 佐藤 川古

《選者詠》

被災地が舞台の映画春の風

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例：4/25 締切分→6/1 発行号掲載】皆さんの投稿をお待ちしております！